

土壌微生物叢アトラスに基づいた環境制御による 循環型協生農業プラットフォーム構築

2021.5.22 Sat
13:00-17:00



ムーンショット目標5である「2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」の達成に向け、研究がスタートしました。その中で「2050年までに、微生物や昆虫等の生物機能をフル活用し、完全資源循環型の食料生産システムを開発する」に資する研究として、早稲田大学の竹山春子をプロジェクトマネージャーとして「土壌微生物叢アトラスに基づいた環境制御による循環型協生農業プラットフォーム構築」が採択されました。土壌微生物叢アトラス、作物、環境制御・測定、栽培マネジメント、社会科学の5つのサブグループにより研究体制を構築し、化学肥料・農薬を極力削減する循環型協生農業を可能とする「循環型協生農業プラットフォーム」を構築します。このプラットフォームを基礎として、未来型の農業土壌のマネジメントにより食糧生産の新しいイノベーションを目指します。

要参加申込：<https://docs.google.com/forms/d/1yxtqKFVch8ApdBdlwCf68hwpFtTwgGBdnROukTe9MLw/edit>

主催：ムーンショット型農林水産研究開発事業「循環型協生農業プラットフォームコンソーシアム」

共催：生物系特定産業技術研究支援センター、早稲田大学 規範科学総合研究所、早稲田大学 グローバル科学知融合研究所、早稲田大学 先進生命動態研究所

協力：ムーンショット型農林水産研究開発事業「昆虫利用型食料生産コンソーシアム」

会場：早稲田大学リサーチイノベーションセンター コンファレンスルームからオンライン配信

【開会挨拶】 千葉 一裕（プログラムディレクター/東京農工大学 学長）

【来賓挨拶】 鈴木 馨祐（衆議院議員/国際連合食糧農業機関(FAO)議員連盟 事務局長）

菱沼 義久（農林水産省農林水産技術会議 事務局長）

【ビデオメッセージ】

Nathalie Sauze-Vandevyver（欧州委員会/農業・農村開発総局 局長）

【挨拶】 沖 和尚（生物系特定産業技術研究支援センター所長）

【プロジェクトの説明】

竹山 春子（プロジェクトマネージャー/早稲田大学 教授）

【代表機関および共同研究機関の代表挨拶】

笠原 博徳（早稲田大学/副総長）

直井 勝彦（東京農工大学/副学長・学術・研究担当理事）

小安 重夫（理化学研究所/研究担当理事）

【各機関のプロジェクト紹介】

竹山 春子：サブグループ1-1 土壌環境-マイクロバイオーム深層相互関係解析チーム

田中 剛（東京農工大学）：サブグループ1-2 土壌ミネラル循環システム開発チーム

松井 南（理研環境資源科学研究センター）：サブグループ2 作物グループ

和田 智之（理研光量子工学研究センター）：サブグループ3 環境制御・測定グループ

市橋 泰範（理研バイオリソース研究センター）：サブグループ5 栽培マネジメントグループ

下川 哲（早稲田大学政治経済学術院）：サブグループ4 社会科学グループ

【パネルディスカッション】

モデレーター：濱田 隆徳（目標5 アドバイザー）

パネラー： 鈴木 馨祐

有馬 暁澄（Beyond Next Ventures株式会社）

千葉 一裕

竹山 春子

朝日 透（早稲田大学 教授）

【閉会の辞】

竹山 春子

研究担当機関：早稲田大学/堀場製作所/マリンオープンイノベーション機構/東京農工大学/太平洋セメント/朝日アグリ/理化学研究所/佐賀大学/アグリオープンイノベーション機構/福島大学/東京大学/筑波大学/京都大学/福島県/前川総合研究所/北海道大学/農業・食品産業技術総合研究機構/新潟県農業総合研究所作物研究センター/三重大学/九州大学

お問い合わせ先：MS循環型協生農業プラットフォームコンソーシアム事務局

Email: moonshot5@list.waseda.jp